

ストライカー山本 劇的決勝弾!

駒澤大学 2-1 日本大学

3戦ぶりの勝利に満面の笑みを
みせた!! (撮影:河田奈津子)

4月28日 13:50 平塚競技場

駒大 2 (1-0) 1 日大
(5位) (1-1) (11位)

得点者 (アスト)

[駒] 42分:湯澤(中村) [日] 52分:山内(三浦)
[駒] 90+2分:山本(田中)

KOMAZAWA

GK⑧積田景介(1)
DF⑨若山僚太(3)
DF④三澤祥馬(4)
DF⑨嶋谷昇大(1)
DF③田中雄一(3)
MF⑤宮城雅史(4)
MF⑧碓井鉄平(3)
MF⑦小牧成亘(2)
(66分⑩磯部祐基(2))
MF⑩湯澤洋介(4)
FW⑨中村 駿(1)
(82分⑩山本大貴(3))
FW ⑫小牟田洋佑 (2)
(71分⑨糸井康裕(3))

S U B

GK①大石健太(3)
DF⑨奥田 陸(2)
MF⑭板倉直紀(2)
MF⑩菊池将太(1)

MANAGER

秋田浩一

NICHIDAI

GK⑩谷 俊勲(1)
DF⑩大山 徹(4)
DF⑩望月陽介(3)
DF⑩高橋秀宜(2)
DF⑩榎原史也(2)
MF⑩都木佑樹(4)
(45分⑦一瀬 健太(4))
MF⑩奥村一誠(2)
MF⑩蒲 真之介(3)
MF⑩鈴木孝輔(2)
(76分⑩中村雄太(2))
FW⑩三浦雄介(3)
FW⑩山内史進(4)
(85分⑩津久井 亮(4))

S U B

GK⑩奥田幸彦(4)
DF⑩橋本直樹(4)
MF⑩福樹孝紀(4)
MF⑩河仲大地 (3)

MANAGER

城 啓二

[シュート] 9:6 [GK] 9:14 [CK] 3:2 [直接FK] 6:19
[間接FK] 2:4 [主審] 川俣 秀 [観衆] 約 204人

警告(C)/退場(S)

※データの左側が駒大

勝ちたい気持ちが 見られた戦い

負けなしでここまでの試合を進めてきた今季の駒大。前半4分、右サイドからのクロスに長身の小牟田が合わせる。立ち上がりから攻撃の姿勢を見せた。14分にも、碓井を起点に左サイドから崩して小牟田の足元にパスを送るが、なかなかゴールには至らない。少しくロスボールが雑に見えた今節の駒大は、相手陣内に攻め込むものの最後の決定的なシュートまで持ち込めない場面が目立つ。31分には中村が鮮やかなドリブルで次々と相手を抜き去りゴールを目指す、これもうまくいかず。相手にチャンスは与えないも、なかなか波に乗れない駒大だった。しかし41分、中村がペナルティーエリア内に走りこんだ湯澤にパスを送ると、得意の左足での鋭い切り返しから、右足でシュート。これがゴール右隅に決まり、待望の先制点を奪った。湯澤は2試合連続となる得点を挙げる。

後半に入ると48分、碓井のフリーキックを合わせた嶋谷がファーヘディングで合わせたボールがゴールバーをたたく。後半の立ち上がりから攻めの姿勢を見せ、幸先のい

いスタートをきったかと思われた。しかし、52分、DF陣の一瞬のマークのすきを突かれると、ゴール前中央でフリーにした選手にパスを送られ、同点とされてしまう。その後は、どちらの時間帯とも言い難い試合展開であり、完全に硬直状態に陥る。駒大はどうか流れを変えようと、66分、71分と選手を交代するが、なかなか暗いトンネルを抜け出すことができない。そこで82分、昨季も重要な場面でゴールを決めてきた山本を投入すると流れが徐々に変化する。85分にはゴール前で、DFながらFWのポジションに入っていた糸井にいい形のパスがはいるなど、少しずつ攻め上がっていく。そして、ロスタイム3分と表示されたその2分後、この試合について光が灯された。左サイドバックの田中の高速クロス。それに山本がどんびしゃのボレーシュートを日大ゴールに決めてみせる。その1分後、試合終了のホイッスル。今年から9番を背負う駒大のストライカーは2試合ぶりの勝利に大きく貢献。最後は気持ちで相手を上回り、勝ち点3を掴んだ。

(鎌田 航平)